



身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2021.6.10

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail

6、7月の石神井川観察は、6/25(金)、7/8(木)、7/23(金)
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

今号は特別
4ページ建

変化する石神井川緑道 新しい参加者を迎えてちょっと寄り道 次々と新しい発見が・・・

最近の石神井川緑道の観察活動は参加者5人という日が多くなって、しかも、緑道際のマンションにお住まいになって日常的に緑道を観察なさっている方もいて、ほとんど一人でやっていた以前とは様相を異にした観察活動になってきました。



6/10は、その方の報告を受けて、いつものルートから少し脇道へ。

←資生堂美容学校の正門の並びに伸びていた**タケニグサ**が開花していました。畑がなくなった赤塚では最近はほとんど見られなくなったこの草。この辺の街路では不思議にもあちこちで見られます(4ページ番外編参照)。

↓ある場所では、カメラの位置から人が立っている位置までの約10mの間に**カラスビシャク**が大きな群落をつくっていました。



この野草の花弁のように見えるのは、仏炎苞という付属物(右の写真=緑道で撮影)。それが雄蕊と雌蕊を包んでいるのですが、サトイモ科の花の特徴です。ということはあの有名なミズバショウと同じ仲間。湿地や林の中によく生えているこの種類の中で、野原で生きている珍しい種。それが街路の植え込みの下に大群落をつくっているのだから、**区役所さん、ここの草刈りやらないで～!**と叫びたくなるような気持ち。



同じ草でも木でも、葉っぱの形が違う でも、これ、「当たり前」の話



新しい参加者は「新しい眼」でもあります。その人を囲んで、「こりゃなんじゃ？」と考え込まされた木がありました。

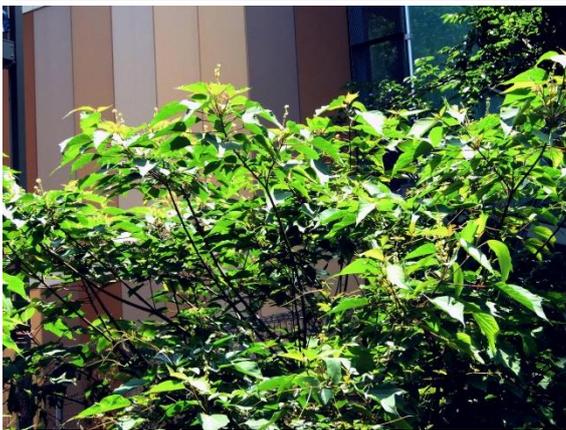
←しばらく歩くと、同じ幹肌で**ヤマグワ**がおいしそうな実をつけていました。

クワの木の葉は大きな切れ込みがあるものとばかり思っていたのですが、同じ株でも切れ込みがない葉もあるのです。葉がイメージ通りでなかったため、さっきのは同定ができなかったのです。「変な植物だ」と

思うのですが、ひとりの人間でも相手によっていろいろに人格を変えるやつがいるのだから、植物も一様でないのはむしろ当然と納得。これ、**生物多様性**なり（「ウソ！違うでしょ」の陰の声）。

普通に観察できる植物で、春と秋では葉の形がまったく変わってしまう植物にヨモギがあります。

環境が変わって出現した植物



←樹木の伐採を行って明るくなった林の中にいちばん最初に生えてくることからパイオニア植物と言われている**アカメガシワ**。一昨年、民有地側の大木が伐

採されたあと、やっぱりこの木が実生で生えてきました。2年目の今年、早くも花をつけていました。

右の2枚は、草刈りでカサカサになった地面。足元をよく見ると、**ニワゼキショウ**が密集して大群落をつくっていました。この「日照り環境」がニワゼキショウにとって良い条件なのかもしれません。



今回も初観察の植物続出！ 不思議な石神井川緑道



←ヤブジラミだと思います。赤塚公園では頭に「オ」が付くオヤブジラミしか観察されないのですが、第二エリアの帝京大学病院前の緑道に出現しました。植物図鑑はすべての植物を対等に扱い、原産地明記以外は「どちらが本物は」の格付けはしないのですが、最近では見られなくなった、割と希少な種には違いありません。

これはなんだ？ わからない植物 誰か教えて～！



第1エリアの JR 社宅前街路。5/13の観察では「外部から運び込まれた土はない」と書きましたが、そうではないかもの疑問。このエ



リア初登場の種がまだありました。左上の写真は、花は黄色でイヌガラシに似ているのですがイメージが違います。イヌカキネガラシに近いように見えるけれど、分かんね～。右上の写真はチチコグサモドキのロゼット状に見えますが、チチコグサモドキの葉はもっと細長いはず。写真が下手で申し訳ないのですが、中心部には白く蕾のようなものがあります。これがとてもきれいでした。



←葉の形がユリの仲間に似ている???。葉のギザギザがヤブマオに似ている分かんねえ種 →



< 番外編 >

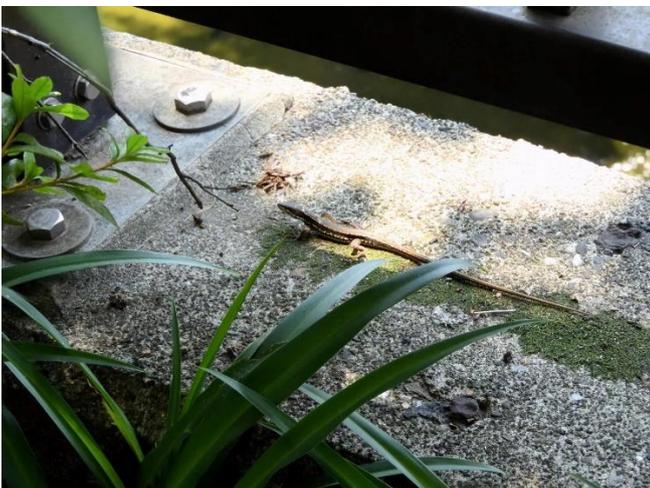


↑1ページの冒頭で紹介した**タケニグサ**。気を付け観察しているとあちこちで観られます。帝京大学病院の石神井川面、救急車が出入りするあたりの街路樹（オオムラサキツツジ）の下にびっしり生えているのを帰り道で見つけました。でも、赤塚公園では1か所だけにしか観られません。

←その向かい側、病院側の植え込みの下から背丈を伸ばしていたのは**アメリカオニアザミ**。こちらはタケニグサとは逆に赤塚

公園周辺でしかみられていない種なのに、こんなところにどうして？です。でかくてガサツで、触れると飛び上がるほどに痛い棘だらけ。昔の人は、それでアメリカを連想したのでしょうか。

↓「生物多様性」を叫ぶ割には動物の世界は全くダメなわたしでも、こいつはわかる**カナヘビ**。



右写真はセブンイレブンがある緑橋の下の川面。2年前までスッポン



のファミリーがすんでいました。最近見かけないと思っていたら、6/8の散歩では**ニシキゴイ**を

発見。北区滝野川から北のこの付近では初観察。雑食で貪欲に食べるニシキゴイは問題あり。

毎回のよう新しい発見に出会う石神井川緑道です。やっぱり定期・定点の観察継続は必要。